

## 5-1. 商店数・従業者数・年間販売額

大阪の商業（卸売業・小売業）について傾向を概観すると、商店数は昭和57年以降減少が続き平成19年には約10万7,000店となっています。従業者数は、平成11年には前回調査よりも増加したものの14年以降は減少し、19年には約91万人となっています。年間販売額は平成3年をピークに減少傾向にあり、19年には約61兆6,600億円となっています。

年	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (百万円)
昭和63	165,755	1,078,423	79,973,559
平成3	164,438	1,122,947	98,117,511
6	153,599	1,103,060	85,544,032
9	142,640	1,044,275	82,880,274
(11)	142,380	1,108,582	76,602,307
14	126,120	1,049,502	63,063,743
(16)	120,342	976,734	60,096,953
19	107,650	913,217	61,660,209

(経済産業省「商業統計表」)

(注) 平成11年商業統計調査は、総務省所管の「事業所・企業統計調査」との同時調査、平成16年商業統計調査は、総務省所管の「事業所・企業統計調査」及び「サービス業基本調査」との同時調査で実施しており、いずれも、調査票はそれぞれの調査に共通の簡易な様式による調査となっています。

